

後援会が心ひとつに 比例東北で**2議席必ず!**



総選挙必勝を誓い会場の声援に応える高橋ちづ子衆院議員、いわぶち友参院議員、ふなやま由美比例候補、と各県小選挙区候補ら

来る総選挙で東北ブロックから2議席を必ず勝ち取るうと、8月25、26日、青森県平川市南田温泉で「第5回日本共産党後援会東北ブロック交流・決起集会」が開かれ、300名が参加しました。
中島康博ブロック責任者が「東北で60万票15%以上の得票をやりきろう」と報告。田熊和貴中央委員会選対局長が講演。高橋ちづ子衆院議員が講演、いわぶち友参院議員が国会報告、ふなやま由美比例候補が決意を述べました。東北各県からの参加者で会場は総選挙必勝の熱気にあふれました。



講演
田熊和貴氏
中央委員会選対局長

前回の総選挙の時の「自公対共産党」の対決から「自公とその補完勢力対市民と野党の共闘」へ構図が大きく変わりました。安倍暴走政治と正面から対決する党への信頼、日本の行き詰まりをどう打開するかという提案が都議選での躍進につながり、広い層への支持の広がりが生まれています。

日本共産党と有権者の関係が変化しています。安倍政権と正面から対決し、提案を行い、共同をすすめる日本共産党への支持が大きく広がっています。大事なことは、これまで共産党支持でなかった人達と対話し、支持を広げることです。これまでの支持者に広げてくださいと訴えることと同時並行で広い層と対話し、支持を広げることです。

マイ名簿を使った対話、少人数の集いをたくさん開くことに挑戦しましょう。集いは参加者が主役です。「党について率直な意見を聞かせてください」といえば必ず党と綱領を語る集いになります。皆さんも今の情勢を生き生きとつかんで打っていきましょう。

自衛隊の南スーダンへの駆けつけ警護が可能となった日「戦争により命を奪われることが絶対にあってはならない」と立候補を決意しました。



比例候補の決意表明
ふなやま由美

あれから8か月、東北各地を駆け巡ってきました。先日は秋田豪雨被害を視察し、生活の再建に国が責任を果たしていく事がどうしても必要だと実感しました。

野党と市民の共闘で自民政治を終わらせる歴史的な闘いです。いのち、暮らしを守る政治に変えていくため、高橋ちづ子議員に続いて東北から国会に駆け上がる決意です。

昨年の参院選挙で皆さんのお力で国会に送っていただき1年が経ちました。本会議の初質問は、「東北で良かった」と言った復興大臣へ「あなたには大臣の資格がない直ちに辞めるべき」と迫りました。大臣でも東電の社長でも堂々と追及できる。日本共産党の国会議員で良かったと思いました。



参院議員の国会報告
いわぶち友

通常国会では共謀罪が強行されました。連日全国から集まり声をあげた皆さんに背中を押されて最後まで闘えました。国会も野党共闘の議員が増え、変わって来ています。要は日本共産党の躍進。安倍政権を倒すため東北から2議席獲得し総選挙で勝利しましょう。

通常国会では共謀罪が強行されました。連日全国から集まり声をあげた皆さんに背中を押されて最後まで闘えました。国会も野党共闘の議員が増え、変わって来ています。要は日本共産党の躍進。安倍政権を倒すため東北から2議席獲得し総選挙で勝利しましょう。



衆院議員の講演
高橋ちづ子

先週岩手で日本母親大会に参加しました。知事、市長がそろって挨拶したと岩手日報が見開きで扱いました。昨年の参院選での東北5県の勝利、仙台市の郡市長の誕生と皆さんの努力で野党と市民の共闘が東北で大きく広がっています。

9月25日から臨時国会が開かれます。森友、加計、共謀罪、特定秘密保護法と国民に口を挟ませない政治に対し国民の怒りが沸騰しています。自民党の支持率が急落するのは当然です。

北朝鮮のミサイル問題で志位委員長が「北と無条件で直接対話を」と提起しました。アメリカも韓国も北と交渉する用意がある。しかし日本政府は、トランプ大統領との電話会談で、「軍事対応を高く評価する」と発言。挑発しているのは日本です。核兵器禁止条約に核保有国が参加することが、北の手足を縛ることになります。世界から見ると安倍政権は孤立しています。

共産党の躍進で国会の全ての委員会に委員が出せるようになり、共闘の土台が広がりました。野党共闘を広げ東北で初の2議席を勝ち取りましょう。

交流会のまとめと閉会あいさつ



東北ブロック後援会連絡会事務局長
岡村 宏輔

集会参加お疲れ様でした。二日間を通じて宿泊参加が154名、日帰り参加を含め297名の参加でした。

第二日目の中島東北ブロック責任者の報告、田熊さんの講演、いわぶち参院議員の国会報告、二日目の高橋衆院議員の講演を通じて、今の激動の情勢と2議席獲得への方針を具体的につかむことができたと思います。市民と野党の共闘が政治を変える力であること、日本共産党の政治的躍進がその力であること、日本共産党に対する有権者の見方が大きく変化していることが明らかにされました。そのもとで、私たち自身がこれまでの考え方、やり方を変えて、大胆に広い層の人たちと対話することの重要性が強調されました。

後援会活動の経験交流では21名の方が発言されました。共通しているのは、役員体制の確立と役員会の定期開催、魅力あるニュースを発行し、会員・読者を増やし、ニュースをきちんと届けていくことです。そして学習

と楽しい行事を行っていることです。こうした日常的活動が選挙戦で大きな力を発揮していることです。また選挙戦本番では多くの後援会員、支持者が参加し、楽しく元気に活動していることです。

労働者後援会の分科会が持たれ、タテ線・分野別後援会の発言が多かったのも今回の特徴です。女性、労働者、農民、文化分野の後援会活動の報告とともに、青年後援会の発言が二人からありました。地域後援会でも青年に働きかけるためにニュースの内容や活動で様々な工夫・努力をされている経験も報告されました。いずれも大変貴重な活動経験の報告だったと思います。発言集を発行しますので活用してください。

ふなやま由美比例候補から2議席実現への力強い決意表明がありました。今回の交流・決起集会の成果を力に、東北のすべての後援会が心をひとつにして2議席を必ず実現しましょう。



参加者の感想文より 一部をご紹介します

小規模の「〇〇カフェ」的な集まりには「話せる場」になるなと改めて思います。潜在的にみんな「話を聞いてほしい」「自分の居場所が欲しい」というようなニーズを持っていると思うので、ニーズに答えられるような場所として共産党の後援会が寄り添えたらと思います。

初めて参加です。高齢者と経験豊かな後援会代表のお話は素晴らしいと思いました。できたばかりの後援会息長く活動していくための意見を参加者の経験交流から学ばせて頂きました。夜の懇親会は共産党もこんなに柔軟性があるのかとびっくりするくらい砕けた内容で驚きでした。福島の若者の切実な叫びの歌に涙も。

初めての参加でしたが青年が元気でとても勇気づけられました。特に驚いたことが、福島県の人々の力強さでしょうか、ここに来られた人数の多さにも「びっくり」でしたが、明るさといふ福島はまだまだ終わらない、これからだという気持ちが伝わってきて元気を頂きました。私も応援したいと思っています。



豪雨被害が発生する中、参加に戸惑いを持ちながらも「初参加して良かった」に尽きます。講演の内容もしっかり受け止めることができました。この会に参加したこと仲間に伝え広がるよう努力したいと思います。

田熊さんの話は面白かった。共産党が政権につくかもしれないという目で有権者が見ているということ。その市民・国民の思いに答えるべく質・量共に強く大きな党や後援会を作る必要性を感じました。



これだけ学べて夜は東北の皆さんと交流できるととても素晴らしい決起集会でした。毎回というのは難しいかも知れませんが、青年を組織して来れたらと思います。事務局の皆さん準備お疲れ様でした。

東北6県からたくさんの方々、特に若い皆さんが参加され熱心に交流・学習されている姿に力強い前進を感じられました。田熊さんの話は一つ一つ納得でき、モヤモヤが吹っ飛んだ感じです。各地の後援会員の皆さんの発言も日々のご苦労がしのばれて感激しました。最後の候補者の決意表明は一人一人フレッシュな力強いものでした。ガンバレ!

何回か参加しています。後援会の発言では「何をやっているのか」という報告が中心で後援会の全体像がわかりません。どんな地域で何人、いつから、どんな行事、活動をしているか知りたいと思います。

当日、感想文は101通が寄せられました。みなさんからの意見、提言、運営への要望など、今後に生かします。